

| | |
|---------------|---|
| Title | 言語文化学 Vol.3 学会の活動/会則 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学言語文化学. 3 p.182-p.186 |
| Issue Date | 1994-03-31 |
| oaire:version | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/78167 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

学会の活動

平成 3 年 5 月 8 日 言語文化学会第 1 回大会

〈設立総会〉

会則の承認・各役員選出

〈記念講演〉

大高順雄教授: 連続と不連続

平成 4 年 5 月 6 日 言語文化学会第 2 回大会

〈総会〉

活動報告・会計報告他

〈講演〉

ウィリアム・カーカヴェラス講師:

Traditions in Foreign Language Education in America:

Why Johnny Never Learned His Crimean Gothic

藤田實教授: 文化・伝統・記号

平成 4 年 10 月 21 日 言語文化学会第 3 回大会

〈研究発表会〉

堀井 祐介: 古ノルド語文法書における格の扱い

西川真理子: 日本語の「被害の受け身」

(司会: 今井光規教授)

中村 洋: 日本語における言明について

上村 和美: 芥川龍之介作品における色彩表現の特質

(司会: 中西暉教授)

平成 5 年 5 月 12 日 言語文化学会第 4 回大会

〈研究発表会〉

小林英起子: レッティング中期の断片喜劇におけるプラウトゥス

朴 正恩: 韓国語의 하계style と日本語の対応表現

(司会: 藤田耕司助教授)

〈総会〉

活動報告

委員改選

前年度から継続の委員:

津久井定雄・金崎春幸・三原文・

西川真理子・堀井祐介・松井理直

(金崎春幸委員は、海外出張のため10月から岩根久に交替)

新委員:

山本実・細谷行輝・藤田耕司・岡本裕介・

戸上良弘・川添一郎・谷崎和代・増田幸子

会計報告(次頁の通り)

〈講演〉

高岡幸一教授: ペトラルカの「不死鳥」について

(司会: 三原文助手)

〈懇親会〉

平成5年10月20日 言語文化学会第5回大会

〈研究発表会〉

一尾 朱美: 文解析と日本語の学習

中園 篤典: 引用文のダイクシス—統語的分析と発話行為的分析—

(司会: 渡邊伸治講師)

山口 美和: 現代日本の政治と「和」

藤井久美子: 台湾における「國語」

—中国標準語の歴史の中における位置付け—

(司会: 坂内千里助教授)

〈査読者〉

井元秀剛・大谷泰照・金子元臣・北村卓・郡司隆男・齋藤衛・
 坂内千里・仙葉豊・高岡幸一・田中望・津田葵・中埜芳之・成田一・
 西垣内泰介・原田裕司・春木仁孝・日野信行・広瀬雅弘・深澤一幸・
 藤本和貴夫・森祐司・山下仁・由本陽子・ヨコタ村上孝之・
 我田広之・渡部眞一郎

《平成4年度会計報告》

| 収 入 | | 支 出 | |
|-----------|---------|---------------|---------|
| 会費(151名分) | 453,000 | 『言語文化学』第1号発送費 | 33,890 |
| 利息 | 2,646 | 通信費 | 9,080 |
| 前年度繰越金 | 129,237 | 文具・消耗品 | 20,415 |
| その他 | 5,170 | 次年度繰越金 | 526,668 |
| 計 | 590,053 | 計 | 590,053 |

平成4年度会計委員 三原 文

堀井祐介

会計監査(平成5年5月11日) 波田節夫

上村和美

大阪大学言語文化学会会則

第1条 本会は大阪大学言語文化学会と称する。

第2条 本会の会員は次の2種とする。

- i) 通常会員 大阪大学言語文化研究科及び言語文化部の教官、大学院院生、大学院修了者で所定の会費を納めたもの。
- ii) 特別会員 元教官及び本会にとくに貢献したもの。

第3条 本会は会員の学術研究を促進するとともに、研究成果の普及をはかり、広く学術全般の進展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達するために研究会を開催し、機関誌を発行する。

第5条 本会の会員は機関誌の配布を受ける。

第6条 本会は第3条の目的を達するために年1回、言語文化学会総会を開催する。

第7条 本会に次の役員をおく。

- i) 会長及び委員、監事をおく。
- ii) 会長を言語文化研究科長、副会長を言語文化部長とする。
- iii) 委員は原則として教官より5名、大学院院生より5名を選出する。なお別に事務担当をおくことができる。
- iv) 監事は2名とし、会計の監査にあたる。監事は会長が委嘱する。

第8条 本会に委員会をおく。

- i) 委員会は前条3の委員をもって構成する。
- ii) 委員会に委員の互選による委員長、企画・編集委員（若干名）、会計委員（若干名）をおく。
- iii) 委員会は本会の運営にあたる。

第9条 役員の任期は次の通りとする。

- i) 会長及び副会長の任期は言語文化研究科長及び言語文化部長の任期に従う。
- ii) 委員の任期は1年とする。
- iii) 監事の任期は1年とする。

第 10 条 本会の経費は会員の会費及びその他の収入による。

- i) 会費は付則に定めるところによる。
- ii) 本会の会計年度は毎年 4 月より翌年 3 月までとする。

第 11 条 本会の事務局は大阪大学言語文化研究科内におく。

- 付則
- i) 通常会員は会費として年間 3000 円を納める。
 - ii) この会則の改正は、総会において出席者の 3 分の 2 以上の賛同を必要とする。
 - iii) 本会則は平成 3 年 5 月 8 日より発効する。